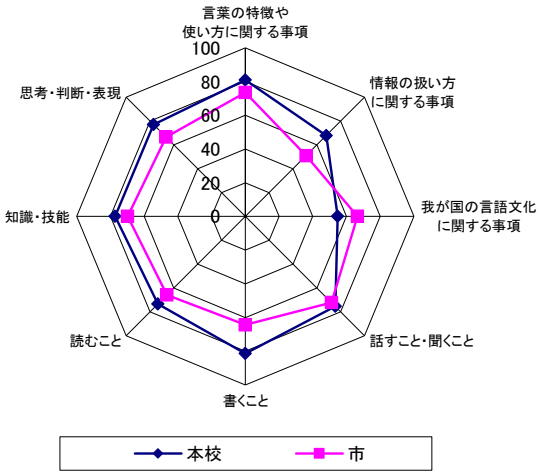
宇都宮市立桜小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	81.0	73.5	74.4
	情報の扱い方に関する事項	67.9	51.0	51.5
	我が国の言語文化に関する事項	54.8	66.5	68.8
	話すこと・聞くこと	75.4	72.3	73.7
	書くこと	81.3	64.3	66.6
	読むこと	73.4	65.8	64.9
観点別	知識・技能	77.2	69.8	70.8
	思考・判断・表現	77.0	66.5	67.3

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○全体的に市の平均を上回っており，漢字を書く問題では平均正答率が高かった。 ●敬語についての問題では，市の平均は4ポイント上回ったものの,他の問題に比べ，正答率は低かった。 ●第6学年に配当されている漢字の読みを答える問題で，市の正答率より低い問題があった。	・既習漢字をもう一度確認をし，確実に漢字を書いたり，読んだりすることができるように苦手な漢字を中心に習得できるよう支援する。敬語に関しては，理解が曖昧な部分を復習して，敬語の使い方を身に付けさせたい。
情報の扱い方に関する事項	○情報の扱いに関する事項の問題では，市の平均を15ポイント以上，上回った。	・他教科での資料を活用した調べ学習にも生かせるよう，継続して情報を整理して，目的に応じて文章でまとめる学習の機会を増やしていく。
我が国の言語文化に関する事項	●和語・漢語・外来語について分類する問題では，正答率が市の平均を11.7ポイント下回った。	・和語・漢語・外来語については，特に和語・漢語の区別がつかない様子が見られるので，改めて語句の由来などを基に整理し，さまざまな言葉をグルーピングしながら，理解が深まるようにしていく。
話すこと・聞くこと	○インタビューの内容を聞き取る問題では，すべての問題で市の平均を上回った。	・継続して，日常生活などからでも的確に話の要旨をつかむことができるように指導していく。
書くこと	○文章を書くことについての問題では，正答率が市の平均を全て上回った。特に，指定された長さで文章を書いたり，段落の役割について理解し2段落構成で文章を書いたりする設問では，正答率が市の平均を大きく上回った。	・文章を書く力がつくよう，段落構成を考えたり，理由を含めて自分の意見を書いたりできるように普段から文章を書く機会を増やし，継続して文章を書く力を伸ばしていきたい。
読むこと	○文章を読むことについての問題では，ほとんどの項目で正答率が市の平均を上回った。特に，説明文の内容を読み取る問題では，正答率が市の平均を大きく上回った。	・物語文を読みながら，登場人物の描写だけでなく，そこから読み取れる心情や想像した人物像について共有する時間を設けたり，感想を伝え合う時間を積極的に設けたりし，十分に物語を味わうことができるようにする。